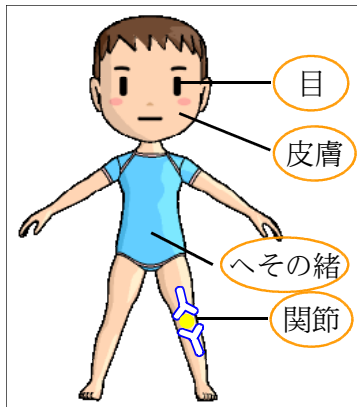
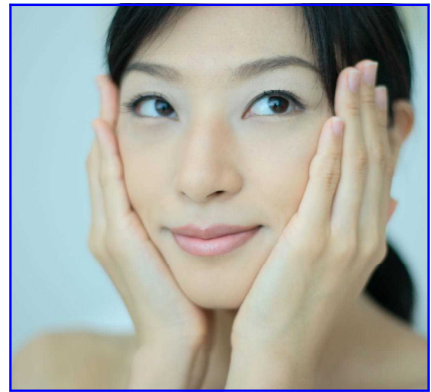


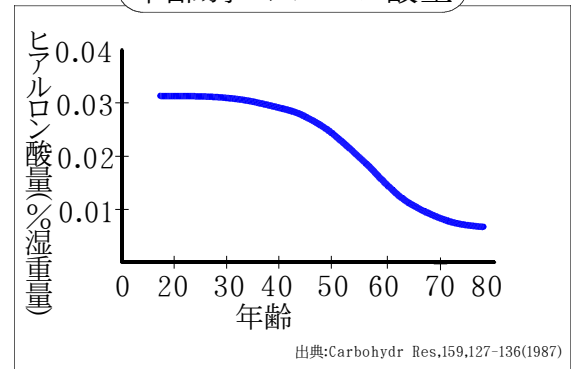
# ヒアルロン酸

「ヒアルロン酸」は僅か1gで水 6000 mlの保水力をもつといわれる優れた保湿成分です。表皮と真皮の両方に存在していて、**角質層の細胞間をうめる役割**を果たしています。体内のヒアルロン酸は、加齢とともに減少していきます。ヒアルロン酸が豊富な皮膚ほど柔軟性が高く、たとえば大人の皮膚に含まれるヒアルロン酸の量は、**赤ちゃんの20分の1**です。そこで、ヒアルロン酸を補うことで、水分の保持能力を高め、コラーゲンとエラスチンの損傷を防ぎ、**肌の張り**と**弾力**を保ちます。又、乾燥で保湿力が低下した**肌をみずみずしく**保ちます。



ヒアルロン酸は脊椎動物の「**結合組織**」に普遍的に存在し、特に濃度が高いのは、**皮膚**、**へその緒(臍帯)**、**関節液**、**目の硝子体**などです。

年齢別ヒアルロン酸量



20歳前後の成人の成分量を100とした場合のヒアルロン酸量の推移です。加齢と共に減少していることがわかります。

## 関節の痛みを改善する

ヒアルロン酸は「**関節液**」、「**関節軟骨**」などに含まれ、潤滑作用(骨と骨の間の滑りを良くする)や緩衝作用(クッション)など、関節の動きを良くする働きをしています。

ヒアルロン酸が生体内で広く“**炎症**”抑制に関与しているといわれています。

国内で、膝の痛みを感じている(リウマチ因子を除く)15名(平均年齢58歳)を被験者とし、ヒアルロン酸摂取 240mg/日、12週間にわたる試験を実施した。

その結果、投与前に比べ、投与 4、8、12週間後において有意なスコアの改善がみられた。

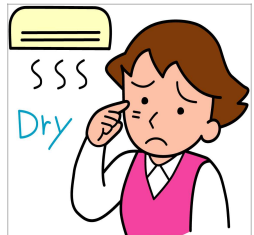


## ヒアルロン酸が含まれる部位

●体内で最も多くヒアルロン酸が含まれているのは**皮膚**であり(ヒト成人で平均7~8g、体全体の約50%を占める)、真皮(約0.5mg/g湿重量)と表皮(約0.1mg/g)の両方に存在します。体内のヒアルロン酸は、成長とともに減少していきます。



●眼の「**硝子体**」に多く含まれ、緩衝作用や組織形状の維持(目の形の維持)をしています。更に、**目の乾燥**を防ぎます。



●ヒアルロン酸は**細胞と細胞の間に多く存在**して、水分の保持やクッションのような役割で細胞を守っています。更に、最近の研究では細胞が壊された時や、強い“**炎症**”が起こった時に「**細胞を修復**」する機能があるとされています。従って、“**手術後**”などの回復を早めます。